

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地：長野県上田市真田町長 6918 番地 1
評価実施期間：H30年11月1日からH31年1月31日 *契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） B18051, 061243	

2 福祉サービス事業者情報（平成30年7月現在）

事業所名：佐久市立平根保育園 (施設名)	種別：保育所	
代表者氏名： 佐久市長：柳田 清二 (管理者氏名) 園長：日向恵美子 副園長：土屋 美知	定員：100名（現員77名）	
設置主体：佐久市 経営主体：佐久市	開設（指定）年月日： 昭和37年6月2日	
所在地：〒385-0002 長野県佐久市上平尾847-3		
電話番号：0267-67-2094	FAX番号：0267-67-2094	
ホームページアドレス：hirane-hoiku@city.saku.nagano.jp		
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員：5名	
専門職員	(専門職の名称) 保育士15名	
	栄養士 名	
	調理師 2名	
施設・設備 の概要	(居室数)：保育室5、乳児室1 ほふく室1	(設備等)：遊戯室1、トイレ3、調理室1 事務室1、園庭

3 理念・基本方針

<p>【佐久市理念】</p> <p>○子どもの最善の利益を考慮し、健全な心身の発達を図り生きる力の基礎を培います。</p> <ul style="list-style-type: none">・養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。・保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。 <p>【佐久市保育目標】</p> <ol style="list-style-type: none">1 自然の中で楽しく遊ぶ子ども2 心身共にたくましい子ども3 思いやりのある子ども <p>【平根保育園の理念】</p> <p>○子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う保育をする。</p> <p>【平根保育園の方針】</p> <ol style="list-style-type: none">1 恵まれた自然の中で思いきり遊び、一人ひとりの子どもの育ちを支える。2 人と人のふれあいを通して、豊かな心を育てる。3 子育ての喜びを共有し、親の子育て支援をする。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

- 佐久市は、平成17年に近隣4市町村と合併し、10万都市の新たな佐久市が誕生しました。本市は、県下4つの「平」の一つ「佐久平」を中心に位置する緑と清流に恵まれた高原都市です。市の中央には、滑津川等の3つの河川が注ぐ千曲川が貫流し、その豊富な清流により育つ佐久鯉は名産になっています。
- 平根保育園が立地する佐久市平根地区は、本市の7行政区の浅間区の中にあり、四季折々の浅間山が眺望できます。佐久市の自然エネルギープロジェクトとして、平根地区防災強化事業「平根発電所の放水路に新たな水力発電機を設置」し、地域防災計画の広域避難地域に指定されています。
- 平根地区は、古くから桃源郷として親しまれ、美味しい桃の産地として知られています。当保育園の周囲にも桃園やプルーン果樹園が広がり、花の咲く頃になるとピンク色の美しい景色の中を、園児たちが散歩コースとして楽しんでいます。
- 平根保育園は、旧平根小学校の校舎を改修して開園したこともあり、地域住民には古くから親しまれ愛着のある保育園です。地域果樹園農家の計らいで、園児たちは、毎年園の周辺の桃やプルーン狩りを楽しんでいます。
- 当園の近くには、地域の人たちに親しまれている由緒あるお寺もあり、園児たちは、お花祭りや七五三参り等で馴染みのあるお寺を、日常的に散歩コースとして利用し交流を深めています。
- 日常的な散歩コースでは、地域の住民と挨拶を交わし、果物や花や野菜をいただく機会が多く、日常的に地域の住民との交流が図られ、園児たちも自然に地域との関わりを感じることもできる環境の中で、穏やかな自然と温かい地域の人達に囲まれた保育園です。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	初回
---------------	----

6 評価結果総評（利用児調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○地域との関係が適切に確保されている

佐久市の保育事業についての中・長期計画や当園の入園の案内には、地域との関わり等に関する基本的考え方が明示され、事業計画には、多様な地域交流行事が計画され実施されています。地域との良好な関係性は、保育の質の向上や事業運営にも大きく関係することを、園長や職員は共有していて、保護者アンケート調査結果でも、地域交流が適切に行われていることが確認できます。

また、保育園を取り巻く環境に恵まれ、自然との関わりや地域の人たちとのやり取りは、子どもたちに社会性や思いやりなどが培われています。

○子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

園児一人ひとりの保育サービスの実施状況は、佐久市公立保育園の統一した記録様式により、適切に記録されていることを訪問調査時に保育計画書で確認できました。記録の保管も規程に基づき園長室で所定の場所に管理されていて、記録は職員が情報共有できるように計画の評価、見直し等も行われ、引継ぎや申し送りの機会も定められていて、職員の共有化の取り組みが認められます。

○子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。

食事、排せつ、睡眠、着脱、清潔等の基本的な生活習慣についての保育支援は、園児一人ひとりの発達状態や保育課程による指導計画に基づいて適切に実施しています。また、一人ひとりの園児の発達に応じた自立心を育み、尊重する保育支援や排せつ・着替え等のプライバシーにも配慮した取り組みを実践する姿勢が組織として伺えました。

○一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。

職員（特に保育士）は、一人ひとりの園児の家庭環境や生活リズム、発達状態を的確に把握し、園児の個人差や特性を共有周知して、個々の園児の状態に応じた適切な保育支援を目指しているこ

とを職員インタビューや指導計画等においても確認できました。

「早くしなさい」「ダメ」「いけません」等の制止の言葉は保育士に徹底されていることを、自己評価の結果やインタビュー等で確認しました。

副園長はじめ職員が、子どもたちの健やかな育ちのために、気持ちを一つにして保育を構築しようとしています。目の前の子どもたちに最善の利益がもたらされるよう、研修に参加し学ぼうとする姿勢は素晴らしいと思います。

シンボルツリーのねむの木を中心に、四季の自然遊びが展開されています。長野県から自然保育の認定を受けており、園目標にも“自然の中で思いきり遊ぶ子ども”とあり、山保育として地域の公園や神社などへの散歩を大切に保育されていました。

利用者調査の中に「子どもに対して親身に対応してくれ、安心して子どもを預けることができます」とありましたが、園児の発達の状況に合わせ、必要な職員数の配置がされており、手厚く対応されていました。

○災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。

防災計画に基づいて、毎月、想定される種々の訓練を実施して、防犯訓練も年2回実施し、刺又やスプレー等の防犯機器も設置していました。災害時の園児の安全確保については、保護者に対しても、オクレンジャー（緊急連絡網、安否確認システム）による対応連絡体制が整備されていました。

◇特に改善が必要と思われる点

○防犯等の設備面の安全体制をさらに整備していただきたい。

園庭と職員駐車場との間にしっかりとしたフェンスが無いため、事故につながらないか懸念されます。また、保護者駐車場から入るフェンスの扉についても、利用者アンケートからも改善を要望する声がありました。

○保護者が相談や意見を述べやすい環境体制をさらに図っていただきたい。

園児（保護者）本位の保育サービスにおいて、保護者が相談したい時や意見を述べたい時に、気軽にできる環境体制が整備されていることが必要になります。相談したい相手の選択等の文書化と、周知のための保護者への説明及び掲示と相談室の明示もお願いします。

○利用者満足の向上を目的とする仕組みのさらなる整備を期待します。

園児（保護者）本位の保育サービスは、保育園だけで判断できるものではなく、園児・保護者がどれだけ満足しているかという双方向性の評価が重要になります。専門的な相談支援体制による個別面談と満足度調査等を定期的、継続的に実施できるように期待します。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・別添 1.2(共通評価項目、内容評価項目)

8 利用者調査の結果

- ・アンケート方式（添付 3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）

